

桔梗新聞

創刊号

発行日 七月三十日月曜日

発行 生徒会執行部

著 早野寛治

土屋彰将

生徒会の歩み

七月十八日水曜日に多治見駅南北連絡通路において、七月上旬に発生した西日本を中心とする豪雨災害に関する募金活動を行いました。今尚、被災地では多くの方が家にも帰れず避難所暮らしが続いています。本日は、ボランティアに行ければいいのですが難しいので今回は募金活動をすることにしました。その日は気温が四十度を超える中、子供からお年寄りまで幅広い世代の方々に協力していただきました。そんな暑い中の活動でしたが、多くの方に応援の声をかけていただいたことで生徒会役員も元気をもらい、はじめは小さかった声が多々に出るようになり終わる頃にはみんな大きな声で揃った呼びかけができるようになりました。今回の経験を元に今まで以上に校内だけでなく校外にも目を向けられるようにしていき、積極的な活動を増やしていきたいと考えています。今後とも、生徒会執行部の活動への協力をお願いします。

今回の募金活動では十九万円を超える募金を集めることが出来ました。ご協力ありがとうございました。これが少しでも被災地の役に立つことを願っています。今回集めた義援金は多治見市福祉部福祉課を通して被災地に届けられ、復興に役立てられます。

役員の手紙

先日の甚大な豪雨災害の被害情報を聞き、多治見高校の生徒会でも何か協力出来ないかと考え、多治見駅改札前で募金活動を行うことにしました。

生徒会の役員は初めは、恥ずかしさのあまり募金の協力を頼む声小さく、通行人の方々の「がんばってね」「熱いのにえらいね」などの温かい言葉に励まされ、次第に声をかけることが出来るようになりました。

この活動で改めて多治見に住む人たちの温かい心を知ることが出来たのでよかったです。

一刻も早く被災地の復興を願っています。

生徒会長 早野寛治



募金総額 195,914円